



三菱UFJ、みずほFG

三菱UFJ銀行とみずほフィナンシャルグループ(FG)が来年春入社の新卒採用で、人工知能(AI)を使った面接システムを試験的に導入したことが6日分かった。学生が受け答えた内容の優劣をAIで分析し、人事担当者による最終的な判断に役立てる狙い。総合商社など有力企業でもAIによる評価を検証する動きが広がっている。

三菱UFJ銀行はオンライン上で実施する1次面接でAIを試験導入した。学生はパソコンのカメラ

メガバンク採用 AIが面接

試験導入 人事担当者を支援

で動画を撮影し、用意された質問に回答。録画データを人事担当者とAIが分析・評価する。今年は運用面の課題を検証し、来年から本格的に活用を始める計画だ。

同行は毎年、大量の学生が受験するため、人事担当者の負担軽減が長年の課題だった。AIが評価業務を支援することで人によってばらつきがあつた判断基準を整合する狙いもあるという。

ただAIを使った人物評価は基準が不透明で懸念は根強い。欧州連合(EU)が4月に公表したAIに関する包括的な規制案ではAIによる人物評価を倫理的に「高リスク」と位置付けた。企業には透明性と説明責任が求められそうだ。

2021年7月7日(水)朝刊 全道版 経済面 12P

①今回の実験では、企業の採用面接にどのようにAIを活用していますか。記事を参考に書きなさい。

②企業の採用面接にAIを導入することについて、あなたの考えを書きなさい。